

被爆体験伝承者の養成

自治体情報 広島県広島市

人口 / 1,162,032人 標準財政規模 / 275,474百万円

担当課 市民局国際平和推進部平和推進課

電話番号 直通 082-242-7831

実施主体 広島市

関連ホームページ <http://www.city.hiroshima.lg.jp/www/contents/00000000000/1336739507362/files/haihu2.pdf>

事業期間 平成24年度から

関係施策分類

予算関連データ

総事業費：1,772千円 (H24)

名称	所管	金額(千円)
一般財源	-	1,772

施策のポイント

被爆から67年を迎え、被爆者の高齢化が進む中、被爆者の体験や平和の思いをしっかりと継承し、一人でも多くの方に核兵器廃絶への思いを共有していただくため、概ね3年間をかけて、被爆体験伝承者を養成する。

施策の概要

1. 取組に至る背景・目的

人類最初の被爆地である広島市では、その使命として、被爆者の悲惨な被爆体験や平和への思いを継承するため、被爆者による被爆体験証言の促進に努めてきたが、被爆後67年を迎えた現在、被爆者の方々の平均年齢は77歳を超え高齢化が進み、被爆体験を直接語り継ぐことができる方が減少している。

これまでは、被爆者の方々が自らの原体験を踏まえ、核兵器廃絶と世界恒久平和を訴えてきたが、今後は、被爆者に代わって被爆を体験していない世代が中心となってその役割を担う必要がある。

こうしたことから、本市では、被爆者の被爆体験や平和への思いを次世代に確実に伝えるため、今年度から、被爆体験証言者の被爆体験等を受け継ぎ、それを伝える被爆体験伝承者を養成することにした。

また、被爆者の中には、新たに、自らの被爆体験を広く後世に伝えたいという意向を持っている方もおられることから、合わせて、自らの被爆体験等を語っていただく被爆体験証言者も募集する。

2. 今年度の取組内容

(1) 被爆体験伝承者等の募集

① 募集期間

5月15日～6月29日

② 応募者数

・被爆体験伝承者 137人

・被爆体験証言者 32人

(2) 研修の実施

被爆体験伝承者等への応募者を対象として、本年7月から来年1月までの間に、被爆の実相の講義、話法技術の講義・実技、平和文化センターが委嘱している証言者による被爆体験講話等の研修を実施(全13回)

(3) 交流会の実施

平和文化センターが委嘱している証言者と伝承候補者との交流会を実施

(全3回)

3. 今後の展開

次の「養成プログラム」に基づき、被爆体験伝承者の養成等を行う。

区分	被爆体験伝承者	被爆体験証言者
平成24年度	研修(被爆の実相の講義、話法技術の講義・実技等)	
	研修(平和文化センターが委嘱している証言者による被爆体験講話の聴講)	-
	証言者と伝承候補者との交流会	
平成25年度	証言者と伝承候補者とのマッチング	講話実習
	証言者から伝承候補者への被ばく体験等の伝授 伝承者の認定	証言者として平和文化センターが委嘱
平成26年度	講話実習	証言者による講話の開始
	伝承者として平和文化センターが委嘱	
平成27年度	伝承者による講話の開始	-